

## シリーズ 地域包括ケアシステムの構築にむけて④

### 住み慣れた地域でいつまでも ～まちづくりは福祉から～

青峰校区は、豊富な緑と空気の美味しさが自慢の、自然環境に恵まれた地域です。青峰校区では昨年度より、自治会長や各種団体の代表が一体となって、地域の支え合い体制を作る「支え合い推進会議※」を立ち上げられました。

今回は、青峰校区まちづくり振興会の内野壽雄会長に、「福祉のまちづくり」や「支え合い推進会議」について、思いを伺いました。



青峰校区まちづくり振興会 会長 内野 壽雄さん

### 将来のための支え合いシステムづくり

青峰の支え合い推進会議は今までに4回開催しました。会議では「何をしたいかわからない」という言葉をよく耳にしましたが、難しく考えないで、ちょっとしたことを援助することだと考えています。支え合いの原点は「向こう三軒両隣の助け合い」です。ゴミ出しや買い物に行っている様子がない、郵便物がたまっている、最近顔色が悪いようだ等、問題を把握し、自立した生活ができるよう支えるためには、高齢者の皆さんをはじめ、地域の関係者が支援体制をつくる必要があります。そして、支え合いには、高齢者のいろいろな悩みや不安を受け止め、寄り添うきめ細かな心配りがが必要です。寄り添うことが、悩みや、不安を和らげることも事実です。また、高齢者の皆さんの協力、意識改革も必要です。元気なうちは、担い手となって「支え上手」に、困った時は支え合いをうまく利用し「支えられ上手」になることが大切です。5年後、10年後を見据えたシステムづくりに皆様のご理解、ご支援をよろしくお願いたします。



支え合い推進会議の様子

※支え合い推進会議…地域で福祉やまちづくりに取組む様々な人々が参加し、地域で困っている人に気づき、支え合う仕組みづくりについて協議する場のこと。久留米市では平成32年度までに全46校区に設置することを目指しています。

今回紹介する「矢作」と「吉木合原」のふたつのサロンでも、講座等のプログラムに加え、参加者が自由におしゃべりできる時間を設けるなど工夫されています。この日も、サロンに来た人を笑顔で迎え、部屋に入るまでみなさんで手助けをする姿が印象的で、会場は穏やかで温かい雰囲気包まれていました。

草野校区では、校区社協とふれあいの会、各自治会の協力のもと10か所で「いきいきサロン」に取組まれています。サロンでは、福祉や医療の専門家等を招いてのミニ講座や、ボランティアによるレクリエーション、参加者自身の趣味や特技をお披露目するなど、参加者全員が楽しく時間を過ごしています。

### 草野校区 「いきいきサロン」

ふれあい・いきいきサロン活動とは、身近な小地域(自治会等)を単位として、高齢者や障害者、児童など地域住民とボランティアが一緒に企画し、運営する「仲間づくり」「健康の維持・増進」「生きがいづくり」を進めるための活動です。市内には、こうしたサロンと呼ばれる「集いの場」が260か所以上あります。

身近なとこでいいことたくさん  
校区社会福祉協議会の福祉活動  
—ふれあい・いきいきサロン—



吉木合原いきいきサロン



矢作いきいきサロン